

日本社会情報学会通信

Vol.19 No.2 2004.4.1

日本社会情報学会

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4 産業プラザ 408

(株)キャンパスクリエイト内

TEL/ FAX 0422-40-2062

E-mail jasi@jade.dti.ne.jp

URL <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>

日本社会情報学会第19回全国大会開催要綱

第19回全国大会の開催要綱が、3月19日開催理事会において、下記の通り基本の開催内容が決まりました。具体的な詳細については、「全国大会プログラム」でご案内します。(7月中旬)

[開催要綱概要]

1. 日 時 平成16年9月16日(木)～17日(金)
2. 会 場 電気通信大学 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1
3. テーマ 「ユビキタス・ネットワーク時代の社会情報学」
4. 開催日程
 - * 1日目 [9月16日(木)]
 - ・ 10:00～10:05 開会セレモニー
挨拶 (電気通信大学)(交渉中)
 - ・ 10:05～12:00 基調講演(実行委員会)
司会
・ 講演「新しい大学像を目指して」益田隆司(電気通信大学)
・ 講演(2)(企業関係者)
 - ・ 12:00～13:00 昼食休憩
 - ・ 13:00～16:00 自治体ワークショップ
 - ・ 13:00～16:00 基調シンポジウム
 - ・ 16:10～17:00 会員総会 *平成16年度学会賞表彰
 - ・ 17:10～19:00 懇親会
 - * 2日目 [9月17日(金)]
 - ・ 10:30～12:00 特別講演
 - ・ 12:00～13:00 昼食休憩
 - ・ 10:00～12:00 研究発表A-F 20テーマ発表
 - ・ 13:00～16:30 研究発表G-L 20テーマ発表
 - ・ 16:40～16:50 大会総括 ・会長 ・次期開催校挨拶
 - ・ 16:50～17:00 閉会
5. 大会組織委員会 会長、副会長、常任委員長、常任理事、事務局長
6. 大会実行委員会
 - 委員長 太田 敏澄(電気通信大学 教授)
 - 副委員長 小菅 敏夫(電気通信大学 教授) 三木 哲也(電気通信大学 教授)
 - 福田 豊(電気通信大学 教授)
 - 委員 自治体ワークショップ・基調シンポジウム編成担当者など
7. プログラム委員会
 - 委員長 小菅 敏夫(電気通信大学 教授)
 - 副委員長 石田 和成(東京農業大学 専任講師) 研究発表論文集担当
 - 委員 座長・コメンテータ担当者など
8. 大会事務局 電気通信大学 大学院情報システム学研究科 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1
事務局長 山本 仁志(電気通信大学 助手)
9. 参加費と懇親会費

区 分		参 加 費	懇親会費
会 員	事前振替申込	5,000円	3,000円
	当日受付	6,000円	3,500円
(学生)	事前振替申込	3,000円	3,000円
	当日受付	3,500円	3,500円
非会員	事前振替申込	5,500円	3,000円
	当日受付	6,500円	3,500円

第19回全国大会研究発表募集のお知らせ

学術委員長 遠藤 薫

第19回全国大会におきます研究発表を下記の要領により募集いたします。

研究発表は、1件につき30分を予定しています。研究発表のテーマと致しましては、広く社会における情報に関する最先端の論題、高度情報社会、社会システム、政治システム、経済システム、行政システム、医療システム、教育システム、法体系、地域・自治体・生活社会の情報化、電子政府・電子投票・電子商取引・電子コミュニケーション、仮想社会・仮想組織、インターネット・イントラネット・エクストラネット、など自由にお考え下さい。

第19回全国大会におきます研究発表につきましては、研究発表会終了後に研究発表賞選考委員会を開催し、座長の方および大会参加者の方々の投票にもとづきまして、第7回研究発表賞の選考を行う予定に致しております。なお、第6回研究発表賞受賞者の方々のお名前、ご発表表題につきまして、学会通信(Vol. 19, No. 1)に掲載いたしておりますので、ご覧下さい。

多数の皆様の発表をお待ちしております。奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

日	時:	2004年9月16(木), 17日(金)
場	所:	電気通信大学 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
発表申込締切:		2004年5月28日(金)
論文集原稿締切:		2004年7月16日(金)
大会事務局 :		電気通信大学 情報システム学研究科

(1) 発表申込要領

1. 下記 URL の申し込みフォームから必要事項をご登録ください。ホームページからの登録に不都合がございましたら電子メールで下記メールアドレスにお問い合わせください。
申し込みフォーム URL : <http://jasi2004.isslab.org/reg/>
問い合わせ電子メールアドレス : k-ishida@nodai.ac.jp
2. 研究発表プログラム委員会による検討の後、発表の採否結果を電子メールでお知らせいたします。なお、必着期限を過ぎた申し込みは、準備の都合上検討対象から除外させていただきますのでご了承ください。

(2) 研究発表論文原稿執筆要領

(a) 原稿作成について

1. A4 版、4 ページで図表を含みます(4 ページを越えた場合には、その分を削除させていただきますので、ご注意ください)。マージンは上端 25mm、下端および左右 20mm で作成してください。版組みなどは自由です。
2. 送付された原稿は B5 版に縮小し、モノクロで印刷します。グラフなどは、モノクロで分かり易いように作成してください。
3. 原稿の 1 ページ目は、上から「和文題名、英文題名、発表者名・所属(和文)、発表者名・所属(英文)、和文アブストラクト(200 文字以内) 英文アブストラクト(100 語以内)」の順でお願いいたします。なお、発表者が複数の場合、発表者名の頭に 印を付して下さい。

(b) 原稿の送付について

1. 必着期限(7月16日)を過ぎた場合には、発表を棄権したものとみなします。
2. 原稿の電子ファイル(WORD ファイルまたは PDF ファイル)を下記電子メールアドレスへお送りください。
原稿送付先電子メールアドレス : k-ishida@nodai.ac.jp
3. 研究発表論文集に掲載された論文の著作権は、日本社会情報学会(JASIS)に帰属するものとします。

以上

☆ 理事会報告 ☆

【第2回理事会報告】

日時 平成16年1月30日(金) 18:00~19:30

場所 三鷹産業プラザ 「703会議室」

【出席者】 太田会長、遠藤副会長／学術、根本副会長／総務、前田常任理事
安藤理事、尾関理事、河西理事、五藤理事、平林理事・理事局長
村上監査人 総務委員：朝見委員

[議事内容]

- 16年度・事業計画の確認と実施計画について。
 - ・太田会長より、会長方針について補足説明があり、再確認の上了承した。
- 16年度・収支予算について。(収入確保策、支出削減策)
 - ・事務局より、収支予算について、科目別の編成と課題について説明。
 - ・総務委員会(根本委員長)からの提議事項
財政状況が厳しいことより、次年度からの収入確保策として下記の検討審議が必要との提議がありました。
会費(個人正会員)の値上げ／2年以上の未納者の扱い／2年以上の未納者の扱い
各研究会における参加費、飼料代の徴収可否(研究会については、企画委員会で、検討)
 - ・通信費について(事務局)
メール承諾会員が60%で、100%を目指し、会員に徹底策をとる。
学会誌、学会通信等も、ホームページでの閲覧活用も今後検討することにより削減。
ホームページ閲覧承諾会員への会費削減等の意見もあった。
 - ・会員増による収入増。
関連提案／太田会長より、団体会員について3名ほど正会員として活動していただく人を決めてはどうかという提案がなされた。
→総務委員会で検討されることが要請された。
- 評議員規則改正に伴う評議員の選出について。
 - ・総務委員会(根本委員長)からの提議事項
評議員の選出手続について、大学からの選出方法、地域からの選出方法、団体会員の選出、役員経験者選出方法についてご提案があり、了承された。
選出時期(4月以降の会員名簿による)、開催時期(全国大会の前日、理事会との合同開催)
- 第19回全国大会について
(18回全国大会について)
第18回全国大会開催校(河西理事)より、第18回全国大会収支決算について報告があり、了承された。
また、繰越金が連年になく黒字が計上されたため、大会への学会からの補助金を学会に返済することが決定した。
そして、JSTへの処理に関する議論がなされ、学術委員会で議論されることが要請された。
開催校(太田会長)より第19回全国大会について決定事項についてご報告があり、了承された。
統一テーマ:「ユビキタスネットワーク時代の社会情報学」他、開催要綱概要。
 - ・基調講演については学術委員会に委託されることが決まった。
 - ・参加費等について五藤先生よりご提案があったが、今後決定する事となった。
 - ・自治体ワークショップを短くすることが決定され、16:00までとする。

5. 表彰委員会からの報告

平林様より表彰全般並びに秋山穰賞についてご報告並びにご提案がなされ、了承された。

- ・ 文面については今後再考する。
- ・ 文面に関する意見は事務局宛に送付する。

6. その他 ・ 会員の入退会についての承認。

<記 朝見>

【第3回理事会報告】

日時 平成16年3月19日(金) 18:00~20:00

場所 電気通信大学 「P棟 517室」

【出席者】 太田会長、根本副会長／総務、福田理事／企画、茶谷理事、安藤理事、
尾関理事、河西理事、五藤理事、平林理事・理事局長 総務委員：朝見委員

[議事内容]

1. 第19回全国大会について。

太田会長からは全国大会の開催要綱の原案が提示され、下記の審議の上、了承された。

- ・ 自治体ワークショップに関して、尾関理事より、統一テーマの範囲に縛られず、プログラム編成をしたい。
- ・ 発表者は原則として学会会員とすると明記する。
- ・ 企業関係の基調講演については、候補者等、今後検討する。
- ・ 全国大会研究発表募集について web で申込登録する。

Web を使えない人は Fax で送付する。

* 日本記号学会より、携帯関連機器の展示の申し入れについて、福田理事より説明があり、受け入れの方向で検討することとした。

場所の問題については今後検討する。セキュリティなどについては今後検討

* 学会前日のチュートリアルについてご提案があり、了承された。

- ・ 大会とは別扱い、費用は別取る。
- ・ 会員と自治体の人に参加可。
- ・ チュートリアルの案内は大会案内と同封するが、チュートリアルは学会プログラムには入らない。
- ・ 資料代は当日支払い。 ・ 参加不参加の確認も独自に行う。
- ・ 開催日は大会に近い日 ・ 主催は学術委員会とする

2. 各委員会の支部の報告

- ・ 企画委員会から、定例研究会の開催予定の報告があり了承された。また、前回の検討事項であった「研究会における資料代等の徴収」については、次年度の検討とすることで了承した。

3. その他

- ・ 入退会者の承認。
- ・ 今後の理事会について

第4回 6月18日 第5回 7月30日 *開催時間 18時より

- ・ 事務局より、財政状況(3/18現在収支状況)について報告があり、各理事に協力要請。
未納者への督促／通信費の削減の促進／メールの多用／他、支出節減策
節減対策を総務委員会で議論。

- ・ 事務局より、4/1発行学会通信の掲載項目が提示され原稿依頼がなされた。

<記 朝見>

☆ 研 究 会 報 告 ☆

【第91回定例研究会】

[日 時] 平成16年3月4日(木) 14:00~16:00

[会 場] 電気通信大学 IS棟2階-233号室大会議室

[テーマ] 『知のコモンズとしての図書館 ～情報化の新たな拠点～』

講師 竹内 利明 氏 ビジネス支援図書館推進協議会 会長

【平成16年度・第2回情報政策研究会】

[日 時] 平成16年2月17日(火) 14:30~16:45

[会 場] 「大橋会館」(3階大教室) 目黒区東山3-7-11

[テーマ] 『IT活用の壁』 ～学校情報化推進の経験から～

講師 文部科学省研究振興局学術研究助成課長 岡本 薫 氏

【第1回合同研究会】

[日 時] 平成16年3月6日(土) 15時から18時

[会 場] 早稲田大学教育学部 16号館6階 605教室

[テーマ] 第1回合同研究会:統一テーマ「今日的課題としての社会情報学」

<報告者> 西垣 通 (東京大学) 伊藤 守 (早稲田大学)

廣松 毅 (東京大学) 木村 忠正 (早稲田大学)

<司 会> 遠藤 薫 (学習院大学) 正村 俊之 (東北大学)

【九州支部・第20回定例研究会】

<日 時> 2004年3月12日(金) 13:30~17:30

<会 場> 九州産業大学・1号館10階・経営学部会議室

<研究会内容>

1. 特別シンポジウム:13:30~15:40

「地域情報化の推進方法」～反省と今後の課題～

*司会: 財部 忠夫

*パネラー: 渡部 榮(九州産業大学) 古賀 豊(九州テレコムセンター) 他

【関西支部・第10回記念定例研究会】

<日 時> 2003年12月13日(土) 13:00~17:40

<会 場> 大阪市立大学

<統一テーマ> 「地域情報化への取組みとその社会情報学的課題」

特別講演 「ユビキタス時代の社会情報学」 会長 太田 敏澄(電気通信大学)

招待講演 「阪神淡路大震災における教訓とGIS」 GIS学会会長 碓井照子(奈良大学)

発表演題-1 「『e-Japan戦略』と中小企業のIT化課題 -公的なIT化支援策と中小企業のIT化課題のギャップ-」 黒田 賢三(日本総合研究所)

-2 「大淀町における情報セキュリティ対策の取組みと、その効果について」
樋口 勝彦(情報システム監査)

-3 「大阪市の地域情報化の最近の動向:TAO西成地区での実験からIT拠点
構想まで」 中野 秀男(大阪市立大学)

-4 「大阪府地区における官民共同でのGISデータの整備」
松村 一保(オーグス総研)

-5 「韓国におけるオンラインコミュニティの動向とその影響」
菜 洙榮・金 炫澈・小郷 直言(大阪大学)

-6 「SCMからDCMへ:情報共有の視点から」 崔 宇・太田 雅晴(大阪市立大学)

平成16年度・学会賞候補推薦について

平成16年度・学会各賞の推薦公募を別記内容にて行います。
各表彰候補の推薦をお願い申し上げます。

日本社会情報学会表彰委員会
委員長 小菅 敏夫

< 表彰候補者の推薦締め切り >

種 類	締 切 日
大学院学位論文賞	16年4月12日(月)
優秀文献賞	16年5月28日(金)
優秀論文賞	同 上
論文奨励賞	同 上
学会功労賞	15年7月30日(金)
社会情報システム貢献賞	同 上

[功労選考委員会]

- 選考区分： ・学会功労賞
・社会情報システム貢献賞

[文献論文選考委員会]

- 選考区分： ・優秀文献賞
・優秀論文賞
・論文奨励賞
・大学院学位論文賞
・研究発表

* [日本社会情報学会秋山穰賞]

別途、選出実施要綱により、選考します。

各推薦書は、コピー（A4に拡大）してご利用下さい。
また、本学会通信は、ホームページへ掲載しますので、各表彰
候補推薦書は、ダウンロードして利用出来ます。
(4月中旬以降)

日本社会情報学会・学会表彰候補者の推薦お願い [学会功労賞][社会情報システム貢献賞]

平成16年4月1日

日本社会情報学会表彰委員会
功労選考委員会

下記により、日本社会情報学会の平成16年度・標記表彰候補の推薦をお願い致します。

1. 受付期限 平成16年7月30日(金) 必着
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 太田 敏澄

〒154-0001 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
(株)キャンパスクリエイト内
日本社会情報学会事務局気付「功労選考委員会」
TEL/FAX 0422-40-2062
E-mail jasi@jade.dti.ne.jp

3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、1件1部。
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます)
4. 推薦者資格 本学会正会員。

なお、学会表彰の区分及び対象は、日本社会情報学会表彰規則第2条に基づき以下の通りとする。

- (1) 学会功労賞
本学会の発展に著しく功労のあった者。
- (2) 社会情報システム貢献賞
本学会の大会、研究会、学会誌で公表した研究もしくは発表で、社会情報システムの発展に特に貢献したと認められる個人または団体。

表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則により表彰の候補を推薦致します。

[推薦者]

(ふりがな) 氏 名	
連絡先住所	〒 TEL () FAX () E-mail :

記

[推薦候補者または推薦候補団体の名称] * 多人数の場合は、その代表者名。

[表彰区分] * 該当区分の に√を付す。

学会功労賞

社会情報システム貢献賞

[表彰対象事項]

[表彰事由]

< 添付資料 >

受付： 年 月 日

受付者氏名：

16年4月1日

*15.12.15発行学会通信の再掲

日本社会情報学会

第六回大学院学位論文表彰候補者の推薦のお願い

日本社会情報学会表彰委員会
文献論文選考委員会

この度、日本社会情報学会では、表彰規則第2条第1項(5)に定める大学院学位論文賞につき、下記により、平成15年4月1日～平成16年3月31日までの期間におきます学位取得者の大学院学位論文につきましての表彰候補者のご推薦をお願いいたします。なお、本賞につきましては、社会情報学関連大学院ご担当の先生方にも、正会員となつていただくことを条件に、ご推薦の依頼を致しております。

なお、表彰区分は、日本社会情報学会大学院学位論文賞選考要領にもとづき、以下の通りといたします。

- (1) 修士論文・・・大学院学位論文賞(修士)
- (2) 課程博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)
- (3) 論文博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)

また、受賞者には、全国研究発表大会総会において、賞状を授与いたしますとともに、学会通信には、受賞者名、論文題目を、日本社会情報学会誌には、受賞者名、論文題目、学位論文要旨を、それぞれ掲載いたします。

記

1. 受付期限 平成15年4月12日(月)(必着)
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 太田 敏澄
〒154-0001 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
(株)キャンパスクリエイト内
日本社会情報学会事務局気付「文献論文選考委員会」
TEL/FAX 0422-40-2062
E-mail jasi@jade.dti.ne.jp
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一部
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 添付書類 学位論文四編(論文のコピーで結構です)
同学位審査要旨四通
(修士論文につき1000字程度、博士論文につき2000字程度)
5. 推薦者資格 本学会正会員(入会手続中の方も、ご推薦戴くことができます。
この場合、理事会での入会承認を条件として、正会員のお取り扱いを致します。)

以上

平成 年 月 日

表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による大学院学位論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____

[学位取得者氏名] _____

[学位授与研究科・専攻名] _____
大学 _____ 研究科
専攻

[推薦区分] () 内に○印を付してお示し下さい。
() 修士論文 () 課程博士論文 () 論文博士論文

[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

平成16年4月1日

日本社会情報学会 優秀文献賞 表彰候補者推薦のお願い

日本社会情報学表彰委員会
文献論文選考委員会

この度、表彰規則の改正に伴い、表彰規則第2条(2)優秀文献賞につき、下記により、表彰候補者をご推薦下さいますようお願い致します。なお、優秀文献賞は、本学会正会員の公表した著書、翻訳書等で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な文献に贈られる賞となっております。また、対象となる文献の公表時期は、平成14年10月1日以降と致します。

記

1. 受付期限 平成16年5月28日(金) 必着
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 太田 敏澄
〒154-0001 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
(株)キャンパスクリエイト内
日本社会情報学会事務局気付「文献論文選考委員会」
TEL/FAX 0422-40-2062
E-mail jasi@jade.dti.ne.jp
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一文献
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 推薦者資格 本学会正会員

以上

平成 年 月 日

日本社会情報学会
優秀文献賞表彰候補推薦書

下記の通り，日本社会情報学会表彰規則による優秀文献賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦文献名] _____
出版社等名称 : _____
発行年月日 : _____
[表彰候補者名] _____
所属 : _____
[推薦事由] _____

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

平成16年4月1日

日本社会情報学会 優秀論文賞・論文奨励賞 表彰候補者推薦のお願い

日本社会情報学表彰委員会
文献論文選考委員会

この度、表彰規則の改正に伴い、表彰規則第2条(3)優秀論文賞、(4)論文奨励賞につき、下記により、それぞれの表彰候補者をご推薦下さいますようお願い致します。
なお、優秀論文賞は、本学会正会員が公表した論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な論文に贈られる賞であり、論文奨励賞は、本学会正会員である新進の研究者が公表した論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な論文に贈られる賞となっております。また、対象となる論文の公表時期は、平成13年10月1日以降と致します。

記

1. 受付期限 平成16年5月28日(金) 必着
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 太田 敏澄
〒154-0001 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
(株)キャンパスクリエイト内
日本社会情報学会事務局気付「文献論文選考委員会」
TEL/FAX 0422-40-2062
E-mail jasi@jade.dti.ne.jp
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一編
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます)
4. 添付書類 推薦論文三通。(論文の抜き刷りないしコピーで結構です)
5. 推薦者資格 本学会正会員。

以上

平成 年 月 日

日本社会情報学会
優秀論文賞表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による優秀論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____
[表彰候補者名] _____
所属 : _____
[論文掲載誌名] _____
発行学会等名称 _____
第 _____ 卷 , 第 _____ 号 , _____ ~ _____ ページ
[推薦事由] _____

受付 : 平成 年 月 日

受付者氏名 :

平成 年 月 日

日本社会情報学会
論文奨励賞表彰候補推薦書

下記の通り，日本社会情報学会表彰規則による論文奨励賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____
[表彰候補者名] _____
所属 : _____
[論文掲載誌名] _____
発行学会等名称 _____
第 _____ 巻，第 _____ 号， _____ ~ _____ ページ
[推薦事由] _____

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

事務局たより

本年1月に事務局を三鷹に移転をし、連絡等一部ご迷惑をお掛けしましたが、会員皆様のご協力により、通常通り業務が出来るようになりました。

今後とも、会員皆様のご支援をお願い申し上げます。

§ 会費納入のお願い

今年度の会費をご請求させて頂きましたが、まだ、ご事情により納入戴いていない会員の方々がいらっしゃいます。

特に、過年度の会費が未納の会員の方へ、再度、ご確認の上、ご納入のほどお願い申し上げます。

ご承知のように、本学会の運営は、会費収入で行われております。会費収入が滞りますと、事業運営に多大な影響を及ぼします。

主旨ご理解の上、重ねてよろしくお願い申し上げます。

< 会費納入先 >

*郵便局 払込取扱票

口座 00130-6-110705

加入者 日本社会情報学会

*銀行 みずほ銀行 三鷹支店

口座番号 普通 8139189

名義 日本社会情報学会 会長 太田敏澄

通信費削減への協力をお願い

会員皆様のご協力により、メールでの各種ご通知・ご案内が増えてきており業務軽減・通信費削減に大きな効果が出て参りました。

ご協力戴いた皆様に御礼申し上げます。

しかし、未だご承諾のご連絡が戴けない会員が多くあり、改めて、メール案内のご承諾を戴きたくお願い申し上げます。

主旨ご理解の上、メールでの各種案内が可能な会員の方々のご協力をお願い致します。

ご承諾戴ける会員の方は、メールにてご連絡をお願い申し上げます。

[返信先 メールアドレス : jasi@jade.dti.ne.jp]